

中国ビジネス人材は、情報を取れる能力を！

論説体（書面語）中国語
読解力養成講座

“レベルシステム”

麗澤大学 名誉教授 三瀦 正道

株式会社 グローヴァ

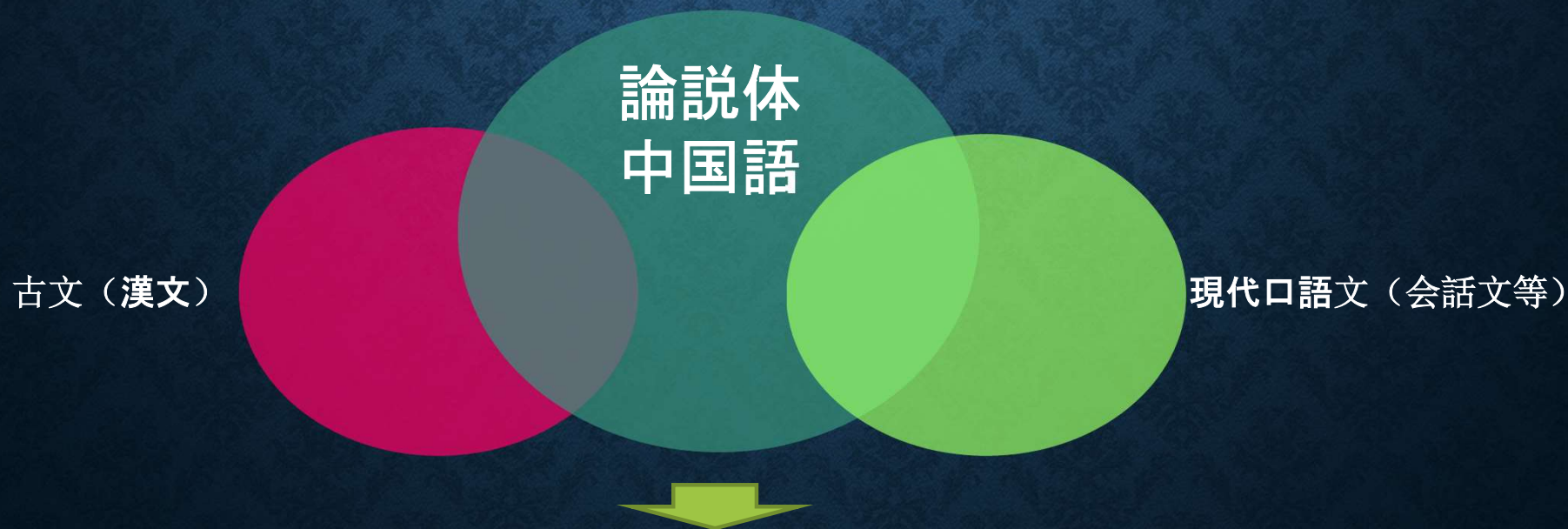
中国語の書き言葉 「論説体（書面語）中国語」とは？

各種ビジネス文書、法律文書、新聞、ネットの記事、また正式なスピーチは、

「論説体（書面語）中国語」

☆「書き言葉」と「話し言葉」のルールには相当の開きがある

- 使う単語の違い
- 文法の違い（独特の文法構造や修辞法、省略化など）
- 論説体特有の様々な「小道具」の存在
- 時事用語、専門用語の存在 etc



話せる ≠ 読める

現代中国語書き言葉発生の歴史的背景

1911年の辛亥革命により、中国は長きに渡る封建社会から解放されましたが、その後、思ったように近代化は進みませんでした。その一因として考えられたのが、読み書きの問題です。

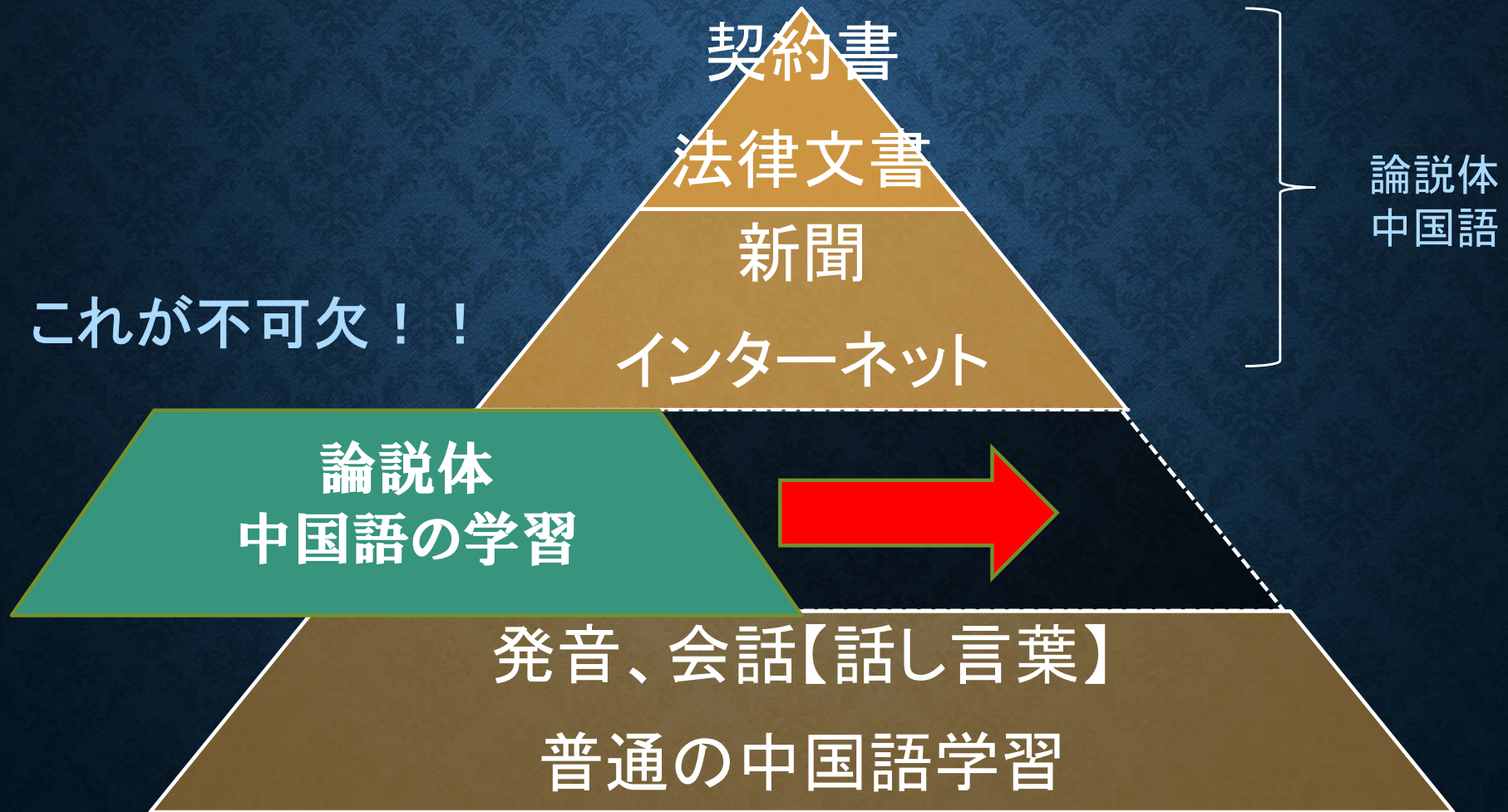
日本は江戸時代から寺子屋教育が盛んだったことで、広く社会の底辺まで読み書きができましたが、中国で「書き言葉」は漢文に代表される難解な文章のことで、ほとんどの庶民は読み書きができませんでした。その反省から、1910年代後半、胡適等が提唱した「白話運動（文学革命とも呼ばれる言文一致運動）」が起こり、“話し言葉＝書き言葉”が大前提になりました。

これにより、1990年代後半に至るまで「書き言葉」を独自の分野として研究すること自体がタブー視されてきてしまいました。

白話運動は今日の社会発展に繋がる要素となりましたが、一方、唐詩や漢詩に見られる言葉のリズムや韻律を非常に重んじ、文章に格調を求める中国人が、“話し言葉＝書き言葉”に甘んじるはずもなく、長い間に自然と“現代中国語の書き言葉のルール”が発生し、今日に至っています。

従って、実社会の文書では「書き言葉」が厳然として存在するのに、学問や研究の対象とされることがなかったことが、今日の空白を生む要因になっています。

ビジネスドキュメントを読めるようになるには



誰が何のために？

1. 中国ビジネスに携わる日本人（駐在者は必須）

★自分自身で大切な情報を；

取れるか？ 読めるか？ 解るか？

★原文との突合せチェックができるか？

2. 日本企業で働く中国人社員

★報告書や会議資料に耐えうる、適切な日本語に
置き換えられるか？（文書は残る）

→すべて実際にあった笑えない話

- * 「読めない」前任者が残した「負の遺産」・・・
- * 現地レポートはネットの「コピー&ペースト」だった・・・
- * 日中パワーバランスの変化で会議議事や資料が中国語に・・・ついていけない！
- * 中国人キーパーソンが転職したらプロジェクトがストップ！

本気で、読めるようになろう！

『論説体(書面語)中国語読解力養成講座』

<本格コース“レベル30”>

学習形態: web<ネット出題/解答・解説+Eメール(提出)+解説動画配信>

開講(年二回): 毎年10月、4月開講

受講期間: 4ヶ月コース(添削回数15回)

受講料(税込): Zoom授業付きコース66,000円、通信コース46,200円

対象レベル: 初級者からプロの翻訳者レベルの方まで受講できます。

(日本人) 中国語検準4級レベル相当以上

(中国人) 日本語の基礎学習習得済の方

学習素材: 人民日報の記事

必携ツール: 中日辞典&参考書「論説体中国語読解力養成講座」

(三瀦正道著・東方書店刊)

実施団体: (株)グローヴァ

<入門コース “レベル4” >

* 中国からも受講できます * 初心者から受講できます

☆ 日本語を学び始めた中国人に
☆ 中国語を学び始めた日本人に

- * 学習形態: 通信教育 (web)
- * 学習システム: 出題 (ネット) + Eメール (答案提出 / 解答・解説)
- * 学習効果: 中国語ドキュメントの大意が把握できるようになります

対象レベル	受講料 (税込)	受講期間 (在籍可能期間)	開講時期	課題提出回数
中国語学習未経験者、 または入門・初級者	¥ 33,000	3.5ヶ月 (7ヶ月)	毎月1日	10回

株式会社グローヴァ

中国語研修チーム

担当: 武俊 (s-bu@glova.co.jp)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-7-1

☎(担当直通)070-3367-9433